主な項目についてみると次のとおりである。

⑴　財政投融資特別会計（別表２参照）

財政投融資の収支は、４兆5,955億円の受取超過であって、前年同期（４兆187億円の受取超過）に比べ、5,768億円受取超過額が増加した。収入は、前年同期（６兆5,365億円）に比べ、8,116億円減少して５兆7,249億円となった。一方、支出は、前年同期（２兆5,178億円）に比べ、１兆3,884億円減少して１兆1,294億円となった。

⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、前年同期の145億円の支払超過から、1,391億円の受取超過となった。収入は、前年同期（３兆8,978億円）に比べ、9,336億円減少して２兆9,642億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆9,123億円）に比べ、１兆872億円減少して２兆8,251億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

保険の収支は、収入13兆4,967億円、支出12兆2,786億円、差引き１兆2,182億円の受取超過であって、前年同期（8,261億円の受取超過）に比べ、3,920億円受取超過額が増加した。

3　国債等・国庫短期証券等（別表１参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成28年度第２・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	356,212	163,052	193,160	368,108	214,736	153,372
国債(１年超)	337,231	146,070	191,161	351,116	201,243	149,872
借入金	18,981	16,982	1,999	16,992	13,493	3,499
国庫短期証券等	864,995	652,761	212,234	955,789	784,467	171,322
国庫短期証券	749,495	537,261	212,234	840,289	668,967	171,322
一時借入金	115,500	115,500	0	115,500	115,500	0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、19兆3,160億円の受取超過であって、前年同期（15兆3,372億円の受取超過）に比べ、３兆9,788億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行33兆7,231億円、償還14兆6,070億円、差引き19兆1,161億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆8,981億円、償還１兆6,982億円、差引き1,999億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、21兆2,234億円の受取超過であって、前年同期（17兆1,322億円の受取超過）に比べ、４兆912億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行74兆9,495億円、償還53兆7,261億円、差引き21兆2,234億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入11兆5,500億円、償還11兆5,500億円、差引き０億円の受取超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支） (A)＋(B)
一般会計	13,692	△ 58,746	△ 45,054
特別会計等	34,549	54,645	89,194
財政投融資	45,955	△ 6,505	39,450
外国為替資金	1,391	19,669	21,060
保険	12,182	△ 16,822	△ 4,640
その他	△ 24,979	58,303	33,324
小計	48,241	△ 4,101	44,140
国債等	193,160	△ 7,007	186,153
国債(１年超)	191,161	△ 3,648	187,513
借入金	1,999	△ 3,359	△ 1,360
国庫短期証券等	212,234	11,109	223,343
国庫短期証券	212,234	—	212,234
一時借入金	0	11,109	11,109
合計	453,635	—	453,635
調整項目	△ 2,728	—	△ 2,728
総計	450,907	—	450,907

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成28年度第２・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 193,433	223,639
特別会計の債券売・買(△)	—	4,317
財政投融資	—	14,900
国債整理基金	—	△ 10,583
その他	△ 122,496	63,840
計	△ 315,928	283,162

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、31兆5,928億円の支払超過であって、前年同期（28兆3,162億円の支払超過）に比べ、３兆2,766億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

1　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達２兆9,565億円、資金返済22兆2,998億円、差引き19兆3,433億円の支払超過であって、前年同期（22兆3,639億円の支払超過）に比べ、３兆207億円支払超過額が減少した。

2　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買はなかった。なお、前年同期は、4,317億円の受取超過で、財政投融資は、１兆4,900億円の受取超過、国債整理基金は、１兆583億円の支払超過であった。

3　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、12兆2,496億円の支払超過であって、前年同期（６兆3,840億円の支払超過）に比べ、５兆8,656億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（45兆907億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（2,728億円の支払超過）を除いた収支は、45兆3,635億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、31兆5,928億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（15兆9,781億円）に比べ、13兆7,707億円増加して29兆7,488億円となった。